●編集・発行　白河市市長公室秘書広報課
〒961-8602　福島県白河市八幡小路7-1（☎㉒1111）

「広報白河」は再生紙を使用しています。

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。
「企業のちから」は、市内の企業やものづくり・人づくりを紹介するコーナーです。

№48　The company in Shirakawa

プレシジョン㈱
Precision　Inc

住　　所：表郷河東田字天王下110-1
事業内容：精密部品の製造・組立、ハーネスの製造

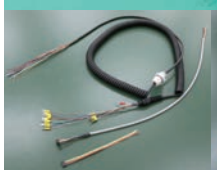
精密部品の組立技術をいかし 更なる分野への活用を追求

「私たちの会社は、エレベーターやATMなどのモーターに使用されている精密部品や自動車のハーネスを製造しています」と話す代表取締役の須藤秀雄（すとうひでお）さん。

プレシジョンは、平成24年に現在地で創業。現在、取引先に近い栃木県にハーネス専門の製造工場を立ち上げています。敷地面積は3,419㎡、従業員は23人。そのほとんどが本市や近隣の町村から採用されています。

この工場では、主にモーターの回転を電気信号に変換して、位置や速度などを検出するセンサ（ロータリーエンコーダ）を受注生産しています。細かな作業が多く、中には熟練者でしかできない手での組み立てもあることから、常に技術の継承に努め、均一な製品づくりを心掛けています。精密部品を扱うため、毎日欠かさず清掃を行っているほか、専門の認定試験に合格した検査員による自社検査を行うなど、品質保証を徹底しています。また、毎日の朝礼で進捗状況を確認し、忙しい部門に人を配置するなど、納期限に間に合うよう応援体制を確立しています。

「仕事量が増えても納得がいくまでやり通し完成させる責任感の強い従業員が誇りです。エンコーダを製造している会社は日本でもわずかなため、今後は、産業や医療などの場面で使用されている技術をいかして、いろいろな分野に挑戦していきたい」と須藤さんは話してくれました。



❶製品の一部（上はロータリーエンコーダ、下はワイヤーハーネス）。ロータリーエンコーダは月に約300種類製造しています。
❷工場の外観。週に２日、従業員全員で工場内外の清掃をしています。
❸従業員の皆さん。仲が良く、アットホームな環境です。
❹工場内部の様子。製品にちりやほこりが入らないよう、清潔に保たれています。
❺検査をしながら製品の精度を上げている様子。
❻「自社で製造しているエンコーダは世界中で使用されています」と話す須藤さん。

《５月の日曜窓口》（本庁舎）
▷**日時**　１日㈰・８日㈰・15日㈰・22日㈰・29日㈰／午前８時30分～正午
《納期限》
◇**固定資産税**（全期前納・第１期）
＊５月２日㈪

Introduction of the cover　今月号の表紙

今月号の表紙は、「東中学校平成27年度第55回卒業証書授与式」での門送の様子です。卒業生は恩師や在校生との別れに涙を浮かべながらも、笑顔で学び舎を後にし、新たなステージへ旅立ちました。